

**課題；**

飯高檀林跡

日本最古の大学と案内されている檀林は1580年日蓮宗の学問所として開かれ、現存する一部のうち、講堂と鐘楼は国の指定文化財になっている。

現在は都内の寺院の所有（萱森さんが詳細は知ってます）で常駐僧がいないため、やや寂れた寺で平日は参拝、見学者もほとんど少ない。従って地元、住民にとっては「誇り」よりも「無縁な」施設である。

里山

山からの資材（材木、枝、かやなど）が不用になったころから、荒れ果ててきた里山は竹がはびこり、隣接する田畑にまで悪影響を与えている。これらの現象は当市のみならず、いたるところにあり、頭を悩ませている。周辺の市町でも同様の里山が多く、此処を魅力ある目的地にするにはやや目玉不足で、「東京さんしょううお」の生態を目玉にしながらも、他の要素を結ぶ「線」として付加価値をつける。

より多くの人々が訪れる体制を整えるとともに住民が利用できる遺産の活用のために積極的に取り組み。手を入れる。

**強み；**

宗教を背景としている「スピリチャル ポイント」である。

歴史的史実

巨大な杉木立とフィチンドット

**弱み；**

大人数の訪問を前提とした受け入れ態勢がない。

（下の駐車場ぐらいで、特にトイレ、水場、ごみ、ベンチなど・・・）

里山の光景は周辺いたるところにあり、例えば古代断層とか霊湧水とかもない。

周辺の強み要因；

1. 飯高寺（1648）
2. 松山庭園美術館
3. 楽心風水館      ※謝先生はBS、TBSにレギュラー番組をもつ、今や地井さんにも劣らない有名人

### 背景とする要因

1. 宗教心を背景とした「癒し」、「ホスピタリティー」、「もてなし」など
2. 文化遺産を背景とした、文化、芸術 活動

### 具体的な活動案；

檀林；

1. 毎日正午に鐘を鳴らす  
地元飯高、吉田地区を中心に30分の掃除、ごみの処理などを含めた活動の互助組織を作る。但し地区外でも市民なら申し出で参加できる
2. 朝の健康体操  
月に1、2度及び夏休み、春休み、早朝の体操  
昔のラジオ体操と中国の朝の太極拳を混ぜたようなイメージ  
担当は謝 先生 講堂前で100から200人レベル
3. 食育教室  
ママ向け教室  
小学生向け社会科授業  
夏休み、春休み子供教室  
※ 庫裏で料理を作れるか確認
4. 八日蚤の市  
毎月8日前後の日曜日にフリーマーケットを催す  
※ 地元の農産物、リサイクル生活用品、骨董など・・・
5. 和太鼓の練習  
市内に登録されているグループの精神と技術の研修
6. 座禅会・法話会  
同じ宗派の僧侶による